



心でかく汗、
体で見る夢。

サッカークリニックでの1コマ

ヘルシーな心は、ヘルシーな体に宿る。
そんな実感の日々が待っています。
夢が精神をストレッチしてくれる。
夢が身体にマインドを調和させる。
そんな「生きてる時間」が流れていきます。



全国でただ一つの国立の4年制体育大学



国立大学法人
鹿屋体育大学

〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地
TEL : 0994-46-4869
URL <http://www.nifs-k.ac.jp/>

再生紙を使用しています。

Kanoya

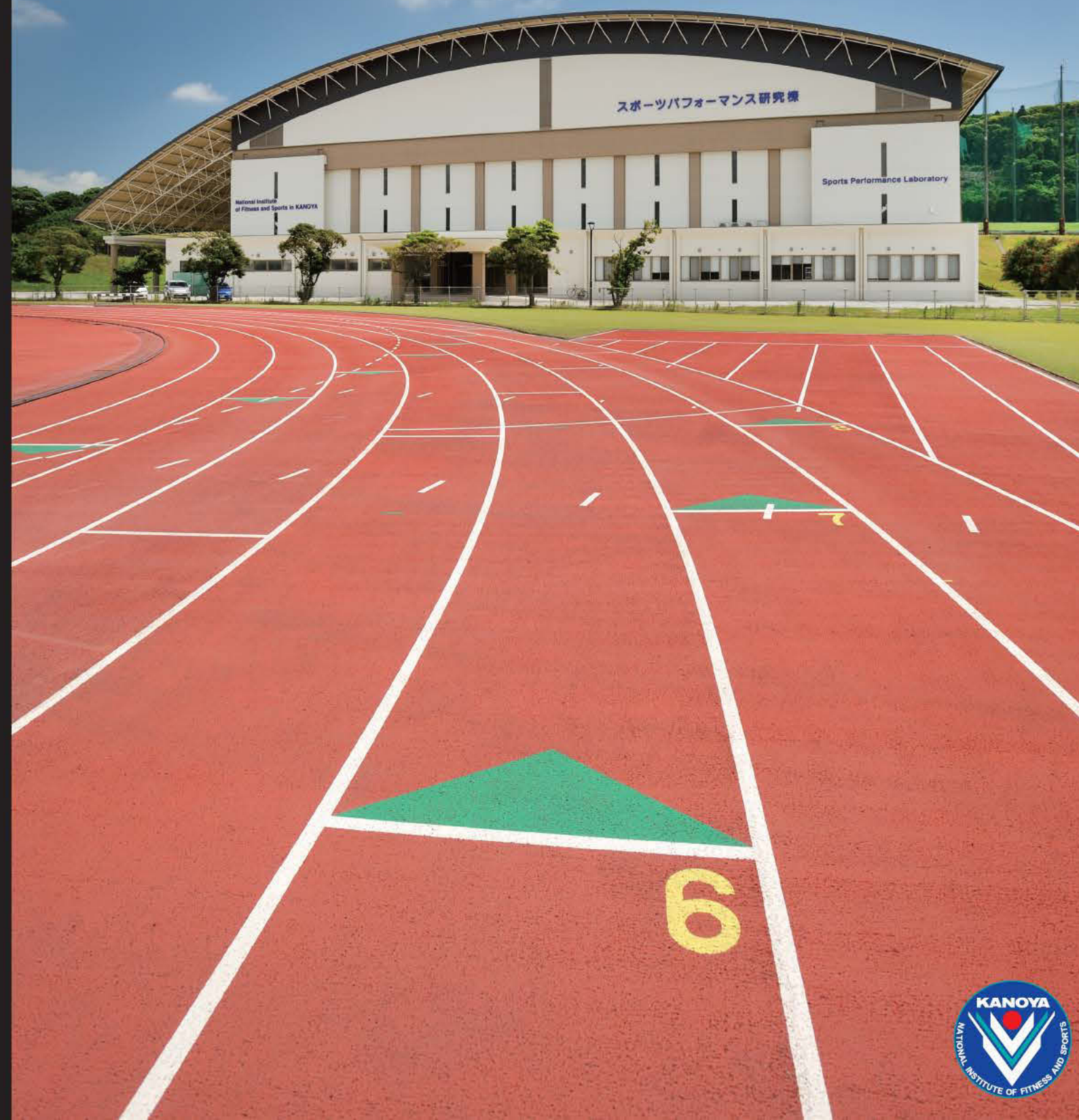
国立大学法人
鹿屋体育大学
2016大学案内

〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地 / TEL : 0994-46-4869
URL <http://www.nifs-k.ac.jp/>

国立大学法人
鹿屋体育大学

Kanoya

国立大学法人
2016 National Institute of Fitness and Sports 鹿屋体育大学



学長からのメッセージ



学長 福永 哲夫

最近、テレビ等で「オリンピックレガシー」について話題になることが多く見られます。レガシーとは「遺産」とか「受け継いだもの」との意味であります。2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、どのようなレガシーが考えられますでしょうか。

スポーツパフォーマンスを向上させるには、非常に多くの要因が関係してくることが明らかにされてきております。人の持つ運動能力には非常に多くの個人差が見られ、大多数の人に効果的な手法であっても、個人にはそうでもない場合が存在します。それは、多くの人に効果的であるかどうかの検証は出来ても100%の人に当てはめることは出来ない場合が多いという科学の特性によります。ここに個々の特徴をとらえたきめ細かな実践研究の重要性がクローズアップされてきます。

科学的に証明された理論的背景をもとに、加えて、体育スポーツを指導実践することが非常に重要であることは言うまでもありません。鹿屋体育大学では在学する4年間で科学的に証明された体育スポーツの原則を学ぶことができます。この原理・原則を理解し身につけた上で、各個人の特性を考慮して指導することができれば、体育スポーツを指導実践する力が身についたものと考えます。このような素晴らしい知識と経験を活かして、2020東京オリンピックに貢献し、素晴らしいレガシーを未来に残していただきたいと思います。

2020東京オリンピック・パラリンピックのレガシーはスポーツ実践研究の開発普及になろうかと思われま

表紙写真
スポーツパフォーマンス研究棟
(2015年3月竣工)

Introduction

真の体育系創造派になるために

- アスレティック・クリエイターになる。
- ヘルス・クリエイターになる。
- サイエンス・クリエイターになる。
- トラディショナル・クリエイターになる。
- ティーチング・クリエイターになる。
- さまざまな可能性を実現するために、今がある。
- そのためのフィールドがここにある。

未来へー 体育系創造派たちよ。

クリエイト、創造ということ。
その可能性をスポーツの分野でも
見い出すことができる人。
その夢をめざし、アクションを起こす人。
そんな若者を、私たちは体育系創造派と呼びます。
自分らしい夢がいい。遠大な夢がいい。
輝くのは、追いつける姿。
思い描く明日があるから、今日を疾走できる。

さあ、フィットネスとマインドが
調和したゴールをめざして。
南国、鹿児島からスタートの号砲が聴こえる。

Introduction 1

- ☐ 体育学部
- ☐ 大学院 体育学研究科
- ☐ 連携ネットワーク
- ☐ 施設

Message of Spirit 18

- ☐ 在学生からのメッセージ
- ☐ 卒業生からのメッセージ
- ☐ 留学生からのメッセージ(国際交流)

Campus Life 26

- ☐ サークル活動
- ☐ 所在地
- ☐ 福利厚生
- ☐ 学生宿舎

Data 33

- ☐ 学費・奨学金・傷害保険
- ☐ 就職
- ☐ 入試情報・資料請求
- ☐ 大学説明会・体験授業

体育学部の目的

鹿屋体育大学体育学部は、体育スポーツ、レクリエーション及び武道（以下「スポーツ・健康」と総称します。）に関する理論と実践を教授研究し、もって豊かな教養と高い学識及び優れた技能を合わせ備えた実践的、創造的なスポーツ・健康に関する指導者を養成するとともにスポーツ・健康に関する理論や実践の深奥をきわめ、その進展に寄与することを目的としています。

これらの目的を達成するため、次のとおり「アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）」「カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成方針）」「ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）」を定めています。

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

鹿屋体育大学体育学部は、心身ともに健康でスポーツを愛好する次のような人材を養成することを目標としています。

一体育・スポーツ及び武道の分野において、理論と実践とを連結する能力を有し、かつ人間的な魅力に満ちた指導者になり得る人材一

○競技スポーツの分野において、競技選手の競技力向上を適切に支援することができる指導者になり得る人材

○生涯スポーツ・健康づくりの分野において、人々の健康状態や体力等に応じた適切な指導が行える指導者になり得る人材



アドミッション・ポリシーの詳細はこのQRコードへアクセス願います



平成27年度 鹿屋体育大学入学式

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成方針）

鹿屋体育大学体育学部では、スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける実践的かつ創造的で、市民性、国際性を備えたリーダーを養成するために、課程や学生の志向性に沿って、学年進行で

1. 専門性の深化と充実

2. 社会人としての豊かな教養の涵養

3. 将来を展望し、勤労観・職業観

を醸成

できるための教育課程を編成しています。



カリキュラム・ポリシーの詳細はこのQRコードへアクセス願います



ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

鹿屋体育大学体育学部では、スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける実践的かつ創造的で市民性、国際性を備えたリーダーを養成するための知識・能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に学位を認定することをディプロマ・ポリシーとして定めています。



ディプロマ・ポリシーの詳細はこのQRコードへアクセス願います



授業時間

(1) 学期と授業時間割

学年を前期(4月1日～9月30日)と後期(10月1日～3月31日)に区分し、原則として学期ごとに授業科目の設定を行います。
なお、授業は、原則として各学期とも15週(試験を課す場合は16週)にわたって行います。

	第1時限 (90分)	第2時限 (90分)	第3時限 (90分)	第4時限 (90分)	第5時限 (45分)
開始	8:30	10:10	12:40	14:20	16:00
終了	10:00	11:40	14:10	15:50	16:45

前期:4月1日～9月30日 後期:10月1日～3月31日
授業は、左表のとおり行います。
集中講義や学外授業などを行うことがあります。

(2) 休業日

休業日(授業を行わない日)は次のとおりですが、休業日においても特別な場合には授業を行うことがあります。

- ① 週休日(土曜日・日曜日)及び国民の休日に関する法律に定める休日 ② 開学記念日(10月1日)
- ③ 夏期休業日(8月5日～9月30日) 冬期休業日(12月26日～1月7日) 春期休業日(3月11日～3月31日)
- ④ その他大学が定めた日 注:休業日においても、特別な場合には講義を行うことがあります(集中講義等)。

(3) 授業の方法

講義、演習、実験、実習もしくは実技又はこれらの組み合わせにより実施します。

「課程」と「系」

本学は、教育目標の達成に向け、体育学部にスポーツ総合課程と武道課程を設定し、各課程の中に下図に示すように3つの系(柔軟なコース)を編成し、それぞれの専門に向けた勉学ができるようにしています。

スポーツ総合課程

体育・健康づくりに関する科学的な基礎知識や応用能力を有し、競技スポーツ、生涯スポーツ、健康づくりに関する専門的能力を、理論と実践の往還を通じて修得することにより、バイタリティーを持ち、国際社会の進展に対応できる実践的かつ創造的で、市民性を備えたリーダーの育成を目標とします。



アスリート・コーチング系

トップレベルの競技力の向上、ジュニア期からトップレベルまでのコーチングを行うことのできる人材を養成するコース

生涯スポーツ系

健康づくりのコーディネートやスポーツクラブ等の管理運営、プログラム開発を行うことのできる人材を養成するコース

武道課程

体育・健康づくりに関する科学的な基礎知識や応用能力を有し、我が国発祥の身体運動文化として伝承され、今日において競技文化としても広く認識されている武道、特に柔道・剣道における心と技を伝統的修練形式である稽古を通じて修得することにより、武道の精神と、国際社会の進展に対応できる実践的かつ創造的で、市民性を備えたリーダーの育成を目標とします。



武道系

武道における「こころ」と「わざ」を伝統的修練方式により学び、武道の実技指導を行うことのできる人材を養成するコース

教育課程の編成

授業科目は原則として学期完結型の科目（学期毎に単位が取れる科目）として設定しています。ただし、一部の科目については、通年科目（1年間履修して単位が取れる科目）となっています。

授業科目は、大きく①一般科目、②キャリア形成科目、③専門科目、④専攻科目、⑤教職科目の5つの科目群に区分されています。

区 分	科目群の特徴（ねらい）
①一般科目	社会の一員として適切に振る舞う態度と豊かな教養、コミュニケーション能力を身につける科目
②キャリア形成科目	スポーツリーダーとしての将来像と職業観・就業観及びキャリアデザイン力を醸成する科目
③専門科目	スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する専門的な知識、実技力、科学的支援力や表現的能力及び課題解決力を身につける科目
④専攻科目	スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関して年齢、目的等に応じた体系的な実技能力や事業運営力を身につける科目
⑤教職科目	中学校や高等学校の保健体育の教員としての免許状を取得するための専門（教科）及び教職に関する科目

さらに、これらの科目群は次のように区分されています。

区 分		科目区分の特徴（ねらい）	
①一般科目	コミュニケーション科目		国内はもとより国際社会で活躍できる語学力とコミュニケーション能力を涵養する科目
	社会・文化・自然科目		社会の一員として、人間、社会、文化自然及び環境に関する教養や態度を涵養する科目
	総合科目		社会の一員として、基礎的な情報リテラシー、表現的能力や討論力を身につける科目
②キャリア形成科目	キャリアデザイン科目		スポーツリーダーとしての将来像と勤労観・職業観を醸成する科目
③専門科目	基礎科目 A（人文・社会・自然系）		体育学の基礎となる人文・社会及び自然系の分野の内容を理解する科目
	基礎科目 B（指導・普及系）		スポーツ・武道及び体育・健康づくりについての指導や普及の基礎的な内容を理解する科目
	応用科目		国民各層のスポーツ・武道及び体育・健康づくりを指導し、普及させるための専門的、応用的な内容を身につける科目
	実験演習科目		スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する基礎的な科学的支援力や表現的能力を身につける科目
	関連実技科目		スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する基礎的な実技力を身につける科目
	ゼミナール（卒業研究）		スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける関心あるテーマについて、体育学の知識を総合的に活用し、課題設定、解決、説明する能力を身につける科目
④専攻科目	専修科目	アスリート・コーチング系 / 武道系 / 生涯スポーツ系	スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関して、年齢、目的等に応じた体系的な実技指導力や事業運営力を身につける科目
	指導実践科目	アスリート・コーチング系 / 武道系 / 生涯スポーツ系	専修科目等で身につけた体系的な実技指導力や事業運営力を実地的・実践的に活用し、深める科目
⑤教職科目	教職		中学校や高等学校の教員としての免許を取得するための教職に関する科目
	専門		中学校や高等学校の保健体育の教員としての免許を取得するための専門（教科）に関する科目

また、授業科目は、下表のように、履修（選択）の仕方により、「必修科目」、「選択科目」、「自由科目」に分類されます。

区 分	科目区分の特徴（ねらい）
必修科目	単一の授業科目で、その修得が義務づけられている科目
選択科目	複数の授業科目のうちから指定する科目数又は単位数の修得が義務づけられている科目
自由科目	必修科目及び選択科目を除き、その修得を卒業認定の要件とされている科目

卒業所要単位数

卒業のための最低修得単位数は、①一般科目と②キャリア形成科目で38単位以上、③専門科目と④専攻科目で86単位以上、合計で124単位修得することが必要な条件（要件）として定められています。

専攻科目の系の選択

本学は教育目標の達成に向け、専攻科目では下図に示すように3つの専攻の系を設定し、それぞれの専門に向けた勉学ができるように編成しています。課程毎に次のように系を選択することとなっています。



※1) 決められた条件の中で、1つの系以上を選択できるものとします。スポーツ総合課程では2つの系より選択できます。
※2) 各系の必修科目を示しています。 ※3) 選択した系以外の履修可能な他系を-----で示しています。

ねえバララン
卒業するために必要な科目や教員免許を取得するためのポイントを教えて

教員免許を取得するには、卒業所要単位以外に39単位は必要だよ。英語は2年間必ず修得しないとイケないよ。学外でのスポーツ指導実習も必ず修得しないとイケないよ。

?



公式マスコットキャラクター
バララン

開設科目

本学では、4 ページ「教育課程の編成」で説明した5つの科目群ごとに次表に示す科目を開設しています。

① 一般科目

区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次
コミュニケーション科目	英語Ⅰ	1		日本事情※	1		環境論	1
	英語Ⅱ	2		現代日本事情※	2		総合演習A	3
	上級英語	3		各国文化研究	1～4		総合演習B	2
	英語コミュニケーションⅠ	1	社会文化自然科目	倫理・哲学	1	総合科目	総合演習C	3
	英語コミュニケーションⅡ	2		人権論	1		総合演習D	2
	上級英語コミュニケーション	3		ジェンダー論	1		総合演習E	2
	中国語	3		歴史学	2		情報処理A	1
	韓国語	3		社会学	2		情報処理B	2
	国語・文章表現法	1		日本国憲法	1		情報処理C	2
	ドイツ語	3		日本文化論	1		プレゼンテーション・討論Ⅰ	2
	フランス語	3		異文化理解	3		プレゼンテーション・討論Ⅱ	3
	留学生のための英語※	1		国際関係論	4		交流リベラルアーツ	1～4
	日本語演習Ⅰ※	1		生物化学論	1			
	日本語演習Ⅱ※	2		身体科学論	1			

(注)※の科目は外国人留学生対象の科目です

② キャリア形成科目

区分	授業科目名	履修年次
キャリアデザイン科目	キャリアデザインⅠ	1
	キャリアデザインⅡ	1
	キャリアデザインⅢ	2
	キャリアアセミナー	3
	キャリアコミュニケーション	3
	企業実習(1週)	2～3
	企業実習(2週)	2～3
	キャリア対策セミナー(教員)	3
	キャリア対策セミナー(公務員)	3
	ボランティア活動	1～4

教育職員免許状、資格・受験資格等

(1) 本学で取得できる教育職員免許状

本学の授業科目の履修状況によって、下記の免許状を取得することができます。

	免許状の種類	資格認定団体等	職務内容等
免許状	中学校教諭一種免許状	各都道府県教育委員会	中学校・高等学校の保健体育の教諭
	高等学校教諭一種免許状		

(2) 本学で取得できる資格・受験資格等

①各種公認スポーツ指導者

下記資格取得のためには、本来は(財)日本体育協会や各種加盟団体が実施する講習会を受講し、検定試験に合格しなければなりませんが、本学は課程認定を受けていることから、指導者資格ごとに指定された本学の授業科目を履修すれば、講習会の一部が免除されます。以下に各種公認スポーツ指導者の種類と職務内容等について記します。

(スポーツ指導基礎資格)

資格の種類	資格認定団体等	職務内容等
スポーツリーダー	(財)日本体育協会	地域におけるスポーツグループやサークルなどのリーダーとして、基礎的なスポーツ指導や運営にあたります。

(競技別指導者資格)

資格の種類	資格認定団体等	職務内容等
指導員	(財)日本体育協会	・ 地域スポーツクラブ等において、スポーツに初めて出会う子どもたちや初心者を対象に、競技別の専門的な知識を活かし、個々人の年齢や性別などの対象に合わせた指導にあたります。 ・ 特に発育発達期の子どもに対しては、総合的な動きづくりにも主眼を置き、遊びの要素を取り入れた指導にあたります。 ・ 地域スポーツクラブ等が実施するスポーツ教室の指導にあたります。 ・ 施設開放において利用者の指導支援を行います。
コーチ	(財)日本体育協会	・ 地域において、競技者養成のための指導にあたります。 ・ 広域スポーツセンターや各競技別のトレーニング拠点において、有望な競技者の育成にあたります。 ・ 広域スポーツセンターの巡回指導に協力し、より高いレベルの実技指導を行います。
教 師	(財)日本体育協会	・ 商業スポーツ施設等において、競技別の専門的指導者として、質の高い実技指導を行います。 ・ 会員(顧客)が満足できるよう、個々人の年齢や性別、技能レベルやニーズなどに合わせたサービスを提供します。

(フィットネス資格)

資格の種類	資格認定団体等	職務内容等
ジュニアスポーツ指導員	(財)日本体育協会	地域スポーツクラブ等において、幼・小・少年期の子どもたちに遊びを通した身体づくり、動きづくりの指導を行います。
スポーツプログラマー	(財)日本体育協会	主として青年期以降の全ての人に対し、地域スポーツクラブなどにおいて、フィットネスの維持や向上のための指導・助言を行います。

(マネジメント資格)

資格の種類	資格認定団体等	職務内容等
アシスタントマネージャー	(財)日本体育協会	総合型の地域スポーツクラブなどにおいて、クラブ員が充実したクラブライフを送ることができるよう、クラブマネージャーを補佐し、クラブ経営のための諸活動をサポートします。

(各種加盟団体等の資格)

資格の種類	資格認定団体等	職務内容等
財団法人日本サッカー協会公認Cコーチ	(財)日本サッカー協会	地域においてスポーツ活動を実施しているクラブやグループ、スポーツ教室で、サッカーの基礎的な技術や一般的な身体運動の指導を行います。
全日本剣道連盟公認社会体育指導員(初級)	全日本剣道連盟	地域において、剣道活動を実施している学校・道場・クラブ・グループ・スポーツ教室等で剣道の指導にあたります。

②健康運動実践指導者

資格の種類	資格認定団体等	資格の概要
健康運動実践指導者	(財)健康・体力づくり事業団	健康づくりのための運動指導者の一つで、医学的基礎知識、運動生理学の知識、健康づくりのための運動指導の知識・技術等をもち、健康づくりを目的として作成された運動プログラムに基づき、ジョギング、エアロビックダンス、水泳及び水中運動等のエアロビック・エクササイズ、ストレッチング、筋力、筋持久力トレーニング等の補強運動の実践指導を行うことができる資格です。

③健康運動指導士

資格の種類	資格認定団体等	資格の概要
健康運動指導士	(財)健康・体力づくり事業団	メディカルスタッフと連携し、メタボリックシンドロームの予防、生活習慣病ハイリスク者への運動指導、少子高齢社会を踏まえた介護予防のための運動指導にあたります。

④その他の資格等

資格の種類	資格認定団体等	資格等の概要
イベント検定	(社)日本イベント産業振興協会	的確なオリエンテーションを行って、より適切で効果的なイベントを実施する「イベントについての体系的な基礎知識を持つ人材」を養成することを目的とした検定です。
レクリエーションインストラクター	(財)日本レクリエーション協会	さまざまな遊びのメニューと提供技術を持ち、楽しさの体験を多くの人に提供できる人材を養成するための資格です。
レクリエーションコーディネーター	(財)日本レクリエーション協会	地域におけるスポーツ活動を支援し、仲間づくりや人々のふれあい活動を推進する資格です。

③専門科目

区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次	
基礎科目	A	解剖生理学	1	応用科目	スポーツ産業論	2	関連実技科目	サッカー	1
		体育・スポーツ哲学と倫理	1		スポーツ老年学	2		ラグビー	2
		体育・スポーツ史	1		スポーツ文化論	2		水泳	3
		健康教育学	1		スポーツトレーニング実践論	3		器械運動	3
		運動生理学	1		体育・スポーツ行政学	3		ダンス	3, 4
		スポーツ栄養学	1		武道文化論	3		バレーボール	3
		スポーツ社会学	2		身体発育発達論	3		柔道	1
		スポーツ経営・管理学概論	2		スポーツ戦術実践論	3		剣道	1
		生涯スポーツ学概論	2		社会調査論	3		エアロビックダンス	1
		スポーツ心理学	1		スポーツ運営論	3		ジョギング&ウォーキング	2
	B	バイオメカニクス	2	体育・スポーツ統計学	3	生涯スポーツ・レクリエーション&ゲームズ	1		
		衛生学・公衆衛生学	2	スポーツマーケティング論	3	テニス	2		
		スポーツ医学	3	運動処方論	3	夏季山岳レジャースポーツ実習	2		
		救急処置論・実習	2	応用スポーツ心理学	3	冬季山岳レジャースポーツ実習	2		
		トレーニング科学概論	2	イベント管理学概論	3	海洋スポーツ	2		
応用科目	スポーツカウンセリング論	2	ヘルスプロモーション論・実習	4	卓球	3			
	運動学概論	2	救急法実習	1～4	バドミントン	3			
	学校保健	2	実験演習科目	体育学実験Ⅰ(運動生理学、バイオメカニクス、スポーツ心理学、衛生学・公衆衛生学、スポーツ栄養学)	1	ソフトボール	2		
	スポーツと法	3		2	体育学実験Ⅱ(運動生理学)	相撲	2		
	コーチ学概論	2			体育学実験Ⅱ(バイオメカニクス)	弓道	2, 4		
	障がい者スポーツ論	3			体育学実験Ⅱ(スポーツ心理学)	野外活動	2		
	武道学概論	1			体育学実験Ⅱ(衛生学・公衆衛生学・スポーツ栄養学)	体力トレーニング	2		
	マッサージ・テーピング論・実習	3	科目関連実技	3	(卒業研究)ゼミナール	ゼミナールⅠ	2		
	生涯スポーツ実践論	3				陸上競技	ゼミナールⅡ	3	
	武道史	2				体操(体つくり運動を含む)	ゼミナールⅢ	4	
運動化学	2	バスケットボール				卒業研究	4		
アスレチックリハビリテーション論	2								
アスレチックリハビリテーション実習	3								

④専攻科目

区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次				
専修科目	Nコンクリート・建築系	陸上競技	1～4	専修科目	生涯スポーツ系	専修科目	武道系	海洋スポーツ	1～4	指導実践科目	スポーツ指導実践総論	1			
		水泳	1～4					自転車競技	1～4		生涯スポーツ論・演習Ⅱ	健康・体力	3	スポーツコーチ実習	3
		体操競技	1～4					レジャー・レクリエーション論	2		野外教育	3	スポーツ指導実習	3	
		バレーボール	1～4					施設・用具・プログラム論	2		専修武道論・実習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ	柔道	1～4	武道指導実習	3
		バスケットボール	1～4					コミュニティスポーツ	3			剣道	1～4	SCO・OP実習	3～4
		サッカー	1～4					生涯スポーツ論・演習Ⅰ	健康・体力			3			
		テニス	1～4					野外教育	3						

⑤教職科目

区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次
教職科目	教職系	教師論	1	教職科目	教職系	教職科目	保健体育科教育法Ⅱ	2
		教育心理学	2				保健体育科教育法Ⅲ	3
		道德教育の研究	2				保健体育科教育法Ⅳ	3
		特別活動論	2				教育実習Ⅰ	4
		教育方法・技術	2				教育実習Ⅱ	4
		教育史	3				教職実践演習(中・高)	4

大学院体育学研究科の目的

鹿屋体育大学大学院体育学研究科は、スポーツ・健康に関する学術の理論及び応用と実践が一体となった教育研究を展開し、その深奥をきわめ、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した学力を培い、スポーツ文化の進展及び国民の健康の増進に寄与することを目的としています。

これらの目的を達成するため、次のとおり「アドミッション・ポリシー（入学受入方針）」「カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成方針）」並びに「ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）」を定めています。

アドミッション・ポリシー（入学受入方針）

【修士課程】

大学院体育学研究科修士課程では、スポーツや身体運動を通して、国民が健康で幸福を享受できる社会の構築に貢献する専門的・実践的な能力の養成及び職業人として中核的な役割を担う人材の育成を目指しています。

【博士後期課程】

大学院体育学研究科博士後期課程では、体育学に関する最先端の研究活動を推進するとともに、スポーツや身体運動を通して、国民が健康で幸福を享受できる社会の構築に貢献できる高度な専門的能力を有する人材の育成を目指しています。



アドミッション・ポリシーの詳細はこのQRコードへアクセス願います

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成方針）

【修士課程】

体育・スポーツ、健康に関する科学的及び実践的な教育研究領域において、特に社会的要請の強い分野を中心とした専門性の高い職業人の養成、研究者の養成及び社会人の再教育を目的とした多様なカリキュラムを編成しています。また、教育目標に沿った教育を効果的に行うため、授業科目を「共通コア科目」「基礎科目」「応用科目」に区分して設けています。

【博士後期課程】

生涯スポーツや競技スポーツの分野において、関連する諸科学等の研究の進展の成果を学際的・統合的に把握して、これまでにない学際領域の分野を開拓し、実践に結びつけることができる独創性のある高度専門指導者の養成を目的として、スポーツ・健康に関する学術の理論及び応用と実践が一体となった教育研究を展開するために、「共通領域」「スポーツ総合科学領域」「スポーツ文化・社会科学領域」「スポーツ生命科学領域」により教育課程を編成しています。



カリキュラム・ポリシーの詳細はこのQRコードへアクセス願います



カリキュラム・ポリシーの詳細はこのQRコードへアクセス願います

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

【修士課程】

スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける実践的かつ創造的で市民性、国際性を備えた高度な専門的指導者や研究者を育てるための知識・能力を身につけ、所定の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受け学位論文の審査及び最終試験に合格した学生に学位を認定します。なお、学位論文に代えて特定課題の研究成果とすることも可能です。



ディプロマ・ポリシーの詳細はこのQRコードへアクセス願います

【博士後期課程】

生涯スポーツや競技スポーツの分野において、関連する諸科学等の研究の進展の成果を学際的・統合的に把握して、これまでにない学際領域の分野を開拓し、実践に結びつけることができる独創性のある高度専門指導者を養成するための知識・能力を身につけ、所定の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受け学位論文の審査及び最終試験に合格した学生に学位を認定します。



ディプロマ・ポリシーの詳細はこのQRコードへアクセス願います



多様な教育プログラム

大学院体育学研究科では、さまざまなニーズに対応した多様な教育プログラムを下記のとおり準備し、多様な人材の入学をお待ちしております。

・スポーツ国際開発学共同学位プログラム（修士課程）

スポーツというツールを用いて、国内外で生じている課題の解決に貢献できる人材の育成を目指す、筑波大学・日本スポーツ振興センターと連携した修士課程の学位プログラムで、学修はすべて英語で行われるのが大きな特色です。
なお、平成28年度からはスポーツ国際開発学共同専攻（修士課程）が設置されます。

・国立スポーツ科学センター（JISS）との連携大学院（博士後期課程）

国立スポーツ科学センター（JISS）を主な勉学場として、同センターの特色を生かした授業科目の履修及び研究指導を受け、鹿屋体育大学大学院の博士（体育学）の学位取得を目指すものです。

・体育学・スポーツ科学連携大学院教育プログラム（博士後期課程）

本学大学院体育学研究科（博士後期課程）を中心として、体育系の修士課程を有する熊本大学と鹿児島大学の大学院教育学研究科が連携・協力して、鹿屋体育大学大学院の博士（体育学）の学位取得を目指すプログラムです。

・高度大学体育指導者養成共同学位プログラム（博士課程）

大学体育や大学スポーツの充実・発展へ寄与する実践研究と、それに基づく教育実践の循環を促進できる高度職業専門人としての大学教員の養成を目的とした、筑波大学と連携した学位プログラムです。
なお、平成28年度からは大学体育スポーツ高度化共同専攻（博士課程）が設置されます。

・東京サテライトキャンパス社会人コース（修士課程、博士後期課程）

各競技においてトップレベルのコーチやアスリートとして活躍している人や体育系の教員らが、その技術に関する実践的指導能力と高度な科学研究能力を東京に在住しながら修得できるようにすることを目的として、鹿屋体育大学東京サテライトキャンパス社会人コースを夜間に開設しています。

Cooperation Network

連携ネットワーク

連携ネットワーク

本学では、いろいろな機関と、ネットワークを構築し、さまざまな教育プログラム等の事業を展開しています。



●鹿屋市

スポーツ合宿・まちづくり
推進事業等

●東京サテライトキャンパス（筑波大学・鹿屋体育大学連携推進室）



授業風景

社会人コース
（修士課程・博士後期課程）

●国立スポーツ科学センター



研究発表の模様

国立スポーツ
科学センター
との連携大学院
（博士後期課程）

●国立大隅青少年自然の家



新入生合宿研修の模様

連携
・
協力



●鹿屋体育大学

体育学・スポーツ科学
連携大学院教育
プログラム
（博士後期課程）

高度大学体育指導者
養成共同学位プログラム
（博士課程）

スポーツ国際開発学
共同学位プログラム
（修士課程）

**JAPAN SPORT
COUNCIL**
日本スポーツ振興センター



●熊本大学 大学院教育学研究科



●鹿児島大学 大学院教育学研究科



●筑波大学

トップクラスの
充実環境。



施設

Campus and Facilities



① 陸上競技場

全天候型の400mトラックで競技会ができる3種公認競技場です。



② サッカー場・ラグビー場

公式競技用としての広さを有し、サッカー場・ラグビー場それぞれ全面芝生張で照明設備も設置されています。



③ テニスコート

ハードコート、オムニコートがあり、照明設備も設置されています。



④ 野球場

両翼92m、中堅117mあり、スコアボードは本部席から操作できるように判定表示装置が設置されています。



⑤ トレーニング場

主に屋外競技用のトレーニング施設で、科学的トレーニングを行うための各種ウエイトトレーニング機器等が設置されています。



⑥ 球技体育館

室内競技専用の体育館で、バレーボール(バスケットボール)バドミントン、卓球の専用室があります。



⑦ ゴルフ練習場

南側の丘陵斜面に設置され、打席数は11、フェアウェイは130m×38mの広さです。



⑧ 屋内実験プール

泳ぎについて運動力学、運動生理学的見地から科学的に教育研究活動が行えるように最新鋭の設備機器と50m長水路、25m短水路のコースを備えた日本での唯一の実験プールで、水泳、シンクロナイズドスイミング、高飛び込み競技ができ、泳法、泳力等をあらゆる角度から分析研究できる減圧可能な流水プール、データ分析室等を備えています。



⑨ 総合体育館

総合体育館は各種公式競技に対応できるよう設計されており、主体育館は球技用としてバスケットボール2面、バレーボール2面、テニス2面、ハンドボール2面、バドミントン8面の競技が可能なスペースを確保でき、また、450名収容可能な移動観覧席が2か所に設置されています。その他、体操練習室、ダンス練習室、トレーニング室があります。



⑨ 体操練習室

体操練習室には、鉄棒、跳馬、あん馬、つり輪、ゆか、平均台、平行棒等の体操競技に必要な器具・設備が設置され、公式競技も可能となっています。



⑩ 武道館

武道の継承、振興及び競技力の向上を目指す本学武道課程の中心施設で、1階に柔道場と相撲場、2階に剣道場、武道館に隣接して弓道場があります。



⑩ 柔道場

武道館には、公式競技が同時に2面可能な342畳敷の柔道場、さらにサブ道場(136畳敷、ウエイトトレーニング用機器常置)も設置されています。



⑩ 剣道場

武道館には、公式競技が2面可能な剣道場及びサブ剣道場があり、床は松材です。



⑪ スポーツパフォーマンス研究棟

本学が推進するスポーツパフォーマンス研究の拠点施設



携帯から施設のページにアクセス!! <http://www.nifs-k.ac.jp/outline/facilities/school.html>



スポーツパフォーマンス研究棟

(通称: SP Lab)

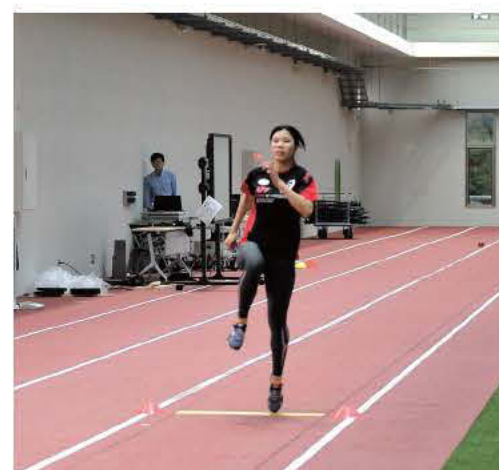
これまでのスポーツ科学系において、アスリートの競技力向上やコーチ論等の実践的研究、とりわけ屋外スポーツにおける実践的研究を行うための研究施設はほとんどありませんでした。

そこで、本学では、唯一の4年制国立体育大学として、今後の体育・スポーツ界において不可欠なスポーツパフォーマンス研究領域を確立するため、屋外スポーツを屋内で実際に競技しながら測定や分析ができる施設として「スポーツパフォーマンス研究棟」を整備し、本年4月に完成しました。

研究の対象となる競技種目は、野球、サッカー、テニス、フットサル、陸上(短距離)等で、測定室となる測定アリーナは、面積約3,500㎡、有効高さ15mを有し、床面は屋外球技用の人工芝、走路は陸上競技用のウレタン仕様としています。

ここでは、フォースプレート(注1)、モーションキャプチャシステム(注2)、高速度カメラ、無線位置計測システム等の測定機器を用いて、屋外競技をはじめとしたさまざまなシーンでの実践的な測定や分析を行うことができます。

これほどの大きさの競技空間と測定環境は国際的にみても例をみないものであり、本学が推進するスポーツパフォーマンス研究を大きく前進させるとともに、他大学をはじめ、国立スポーツ科学センター(JISS)や日本オリンピック委員会(JOC)等との連携により、我が国のスポーツ界全体の競技力向上にも寄与することが期待されます。



(注1) フォースプレート(走路に埋め込んであります): 歩行はじめいろいろな動作をしているときの力学的計測を行うための板状の装置
(注2) モーションキャプチャシステム(走路の周りに立っている装置): 現実の人物や物体の動きをデジタル的に記録するための装置



海洋スポーツセンター

Center for Water Sports and Sciences

海洋スポーツに関する理論教育・実技指導及び研究活動を行うほか、広く海洋スポーツに関する研修会・講習会の開催、課外活動等にも活用し、実践的指導者の養成、競技力の向上及び生涯スポーツとしての底辺拡大を目指しています。

また、海洋スポーツを通じた諸外国の指導者や競技者との国際交流に資することも目的としています。

スポーツトレーニング教育研究センター

Center of Sports Training Research and Education

高度な測定機器やトレーニング機器を本センターに集中的に配置し、学内共同利用施設として、教員はもとより学部生や大学院生が自由に施設を活用して、トレーニングの研究や実践を行う場を提供しています。また、各種のトレーニングの意義や効果を科学的に分析・評価するために、様々な研究プロジェクトも行われています。



たとえば、発育・発達段階に応じた一般児童生徒の体力づくりや、ジュニアアスリートのトレーニングの新たな方法を開発するために、地域の小・中・高等学校と連携して体力測定を行い、そのデータに基づいたトレーニングを長期的な視点で行っています。また、様々なスポーツ種目に携わる本学の選手や国内の一流選手を対象として、同様の研究も行っています。これらの研究成果を講習会、学術誌、広報誌などを通じて、学内外に情報発信しています。



多彩に広がるスポーツ環境。

施設

Facilities

国際交流センター

International Exchange and Language Education Center

グローバルに活躍し得る人材養成を目的に、2つのCALLシステムや多読用図書を活用し、外国語教育（英語、ドイツ語、中国語、韓国語、留学生対象の日本語）や異文化理解に関する教育研究を行っています。

また、学生や教職員の外国語の学習・研究のための利用や大学間交流協定校からの留学生の受け入れ及び本学学生の派遣等国際交流事業を推進するとともに、地域社会への公開講座なども開講しています。



■LL1教室（グローバル支援語学学習システム・46ブース）

スポーツ情報センター

Information Technology Center for Sports Sciences

情報通信技術を用いた教育と研究を支援するとともに、情報の発信を通じて体育・スポーツの進展に寄与することを目的としています。

各種のネットワークサービスをはじめ、三次元動作分析装置や高速度カメラなどスポーツ科学の実験設備を利用者に提供しています。情報処理演習室は平日22時まで開室しており、研究情報の収集やレポート作成など、連日多くの学生に利用されています。



光学式3次元モーションキャプチャ

生涯スポーツ実践センター

Interdisciplinary Research Center for Lifelong Sport and Physical Activity

生涯スポーツに関する実践指導と学際的な研究・教育を広く社会との連携を図りながら行うことを目的としています。

主に、人々の各ライフステージに応じた運動・スポーツプログラムの開発・指導、地域のスポーツ振興や健康づくり、地域スポーツプログラムの育成支援、生涯スポーツ指導者の育成支援、運動・スポーツプログラムの地域社会への効果の測定などに関する教育研究を行っています。



附属図書館

Library

附属図書館では、教育研究活動に必要な専門図書や一般教養図書のほか、体育・スポーツ、レクリエーションや武道分野の雑誌や新聞、視聴覚資料も数多く所蔵しています。館内には、利用者用パソコンを設置し、電子図書館的な機能も充実しており、体育・スポーツ分野のデータベースや電子ジャーナル等が利用できます。

■附属図書館ホームページ <http://www.lib.nifs-k.ac.jp/>



過去、現在、そして未来。

時代が激しく動く。時が速く駆ける。

その中で見極めたいのは、「我々には何が必要なのか」

今、求められるのは、「クリエイトする力」「クリエイトする心」

新たな歴史を創り、夢を実現し、新世紀を生き抜く。

そこには、いつもキミたちがいるはずだ。

だから今、キミたちへメッセージを送りたい。

ここに集う、アクティブクリエイターたちから。

Message of Spirit

更なる高みへ

私は自転車競技を通して鹿屋体育大学を知り、入学にいたりました。

鹿屋は自然豊かで、スポーツをする場として恵まれています。

鹿屋市近郊の一般道は交通量が少なく、また、本土最南端で年中温暖な環境であるためトレーニングに集中することができます。

そのお蔭もあり、2014仁川アジア大会では金メダルと銅メダルを獲得することができました。

次なる目標はリオでメダル獲得、そして東京では金メダルを目標に精進していきます。



橋本 英也

Hashimoto Eiya
スポーツ総合課程4年
平成24年度 AO(SS)入試
岐阜県立岐南工業高校出身
自転車競技部所属



在学生からのメッセージ

Messages from students

成長・躍進の地に

私が鹿屋体育大学に進学した理由は、この大学では保健体育の教員免許が取得でき、また体育・スポーツについて専門的に学ぶことができるからです。

私の高校時代の競技成績は全国大会予選落ちで、とても全国で戦えるような力はありませんでした。しかし、この鹿屋体育大学の環境や他競技を含めた仲間の存在が大きく私を成長させてくれたように感じます。昨年度は、学生の全国大会（駅伝含む）で優勝または区間賞（区間新）といった成績を残すことができました。今年度は、日本インカレ連覇と専門種目の5000mで日本学生記録を樹立することを目標にしています。また、駅伝でもチームとして最高の結果が残せるように頑張っていきたいと思います。



鍋島 莉奈

Nabeshima Rina
スポーツ総合課程4年
平成24年度 推薦入試
高知県立山田高校出身
陸上競技部所属

オリンピック出場＆優勝を目指して

私は鹿屋体育大学に進学して最初は不安も大きかったですが、理解のある指導者やコーチ、意識が高く切磋琢磨しあえるみんなのおかげで楽しく充実した生活を送っています。

私は全日本選抜柔道体重別選手権大会で3位に入賞し、ユニバーシアードへの出場が決まり、優勝を目標に頑張っているところです。

当大学は、施設設備や環境が整っており、大学の近くには栄養をサポートしてくれる「鹿屋アスリート食堂」があります。また、各競技のトップアスリートもたくさんいて、刺激し合いつつお互い競技力向上に努めることができます。

皆さんと一緒に充実した学生生活を送りましょう！



豎山 将

Tateyama Sho
武道課程4年
平成24年度 AO(SS)入試
鹿児島情報高校出身
柔道部所属



己と向き合える “それが鹿屋”

専門学校で進路について考えていた時、「まだ勉強したい!」と進学を決意。一番に思い浮かんだのが鹿屋体育大学。反対の声もあったが、自分の向いた方向を信じたいと強く思った。いまは、優れた研究施設やスポーツ選手達の中で、日々勉強に集中できている。

将来の夢は、人の夢をコーチングできるスポーツトレーナーであり治療家。この環境があるからこそ、現在も己と向き合い続けることが出来ている。



高橋 佑輔
Takahashi Yusuke

スポーツ総合課程4年
平成26年度 第3年次編入学
京都翔英高校出身
アスレティックトレーナー部所属



在学生からのメッセージ

Messages from students

学生生活を 充実したものに!

剣道部3年の永留です。今はゼミに入り、剣道の歴史や伝統などをはじめとした専門的なことについて深く学んでいます。武道(剣道)をこころざし、競技者としても人としても多くのことを学べるのがこの大学の良さだと思います。大学は自然に囲まれ、施設設備も整っているので何事にも打ち込める環境です。ここで部活動に専念し、授業などを通して他の競技種目の人たちとも交流をすることで、自身の夢も友達の輪も広がり充実した4年間を過ごすことが出来ると思います。受験生の皆さんも、鹿屋の地で多くのことにチャレンジしましょう。



永留 未来

Nagatome Miku
武道課程3年
平成25年度 推薦入試
福岡市立福岡高校出身
剣道部所属

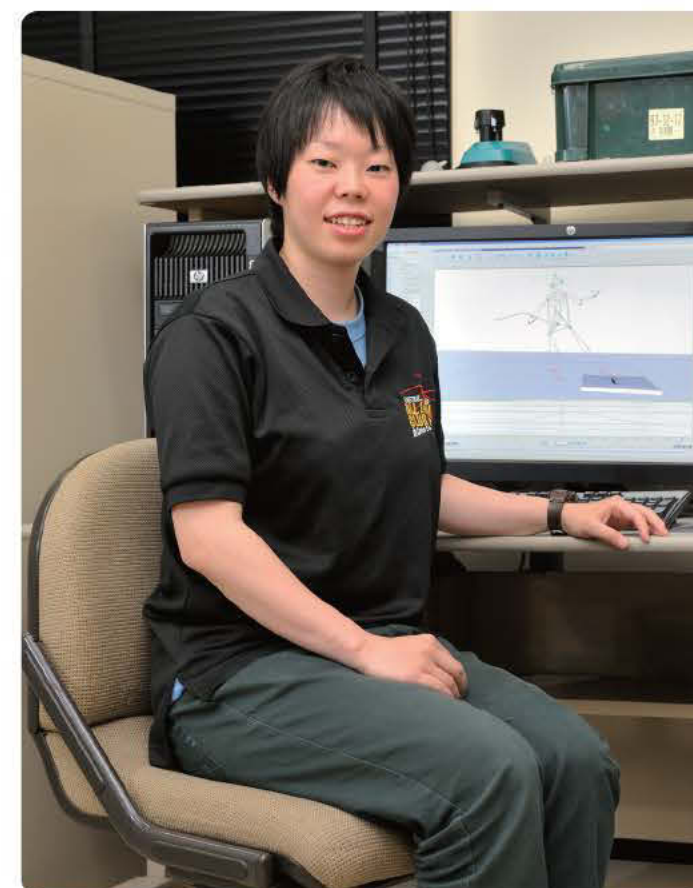


鹿屋には恵まれた 研究施設がある

私は、浪人を経て、鹿屋体育大学に入学しました。その後、学部を3年で卒業し(早期卒業制度を利用)、大学院に進学しました。体育大学と言うと部活動のイメージが強いですが、鹿屋体育大学は、研究施設や機材も整っているので、自身の研究がとてもしやすい環境です。私は、バイオメカニクス研究室に所属しており、バスケットボール選手のディフェンス動作についての研究を行っています。大学院の仲間とは、専門分野や競技が違っていても、情報を交換し、切磋琢磨し合って、お互いの研究を進めています。

亀田 麻依

Kameda Mai
大学院体育学研究科
博士後期課程2年
平成26年度入学
東京都立井草高校出身



再出発

「保健体育の教師になる」そう決意したのは私が社会人として働いていた22歳の時でした。

決意した時期が遅かったこともあり、周囲の反応も良いものばかりではありませんでした。しかし、何事もやってみなければわかりません。周りからどう言われようと自分で決めた道を進むことにし、鹿屋体育大学に入学しました。

現在、アスレティックトレーナー部に所属し、選手をサポートする側の勉強をしたり、スポーツボランティアに参加し、指導方法を学んだり、様々な経験を積むことができています。

鹿屋体育大学で知識と指導力を身に付け、未来を担う子供たちに体育スポーツの大切さを伝えられる教師になりたいと思います。

木寺 竜也

Kidera Tatsuya
スポーツ総合課程2年
平成26年度 社会人入試
神戸弘陵学園高校出身
アスレティックトレーナー部所属



可能性を信じて

「オリンピックは夢。とにかく1秒でも速く泳げるになりたい」が、私の志望理由でした。なので、入学当初はオリンピックについてはほとんど考えた事はありませんでした。

ただ、1回1回の練習に全力で向かい、1日1日を積み重ねていった結果、夢だったオリンピックが目標に変わり、オリンピックの舞台に立つ事ができていました。

鹿屋体育大学は、自分が持っている力を最大限に引き出してくれる場所だと思います。ぜひ、鹿屋体育大学に入学をして、自分の可能性を広げていってほしいと思います。

アテネオリンピック 競泳女子800m自由形金メダリスト

柴田 亜衣

Shibata Ai

平成17年3月 体育学部 体育・スポーツ課程卒業
平成21年3月 大学院 体育学研究科修士課程修了
平成23年4月 鹿屋体育大学 広報アドバイザー
平成23年4月 株式会社ブラミン所属

(柴田亜衣オフィシャルFacebook更新中)

卒業生からのメッセージ

Messages from graduates



写真提供：月刊バレーボール

自身が成長できる 楽しい大学生活

入学した当初は不安でしたが、多くの仲間や素晴らしい先生、先輩方に支えていただき、充実した大学生活を送ることができました。在学中は、バレーボール部に所属しながら運動生理学や、スポーツに必要な知識を学びました。

現在は、茨城県のチームでバレーボール選手として辛いことも多いですが、成長できる場として楽しみながらオリンピックを目標に頑張っています。鹿屋体育大学での生活があり、今の自分があると思います。

皆さんも目標に向かって充実した大学生活を送ってください。

バレーボール全日本女子代表選手
日立リヴァーレ(Vプレミアリーグ)所属

内瀬戸 真実

Uchiseto Mami
平成26年3月 体育学部
スポーツ総合課程 卒業

一期生のテレビマン、いまだ勉学の日々です!

私は1988年に本学を卒業し、TBSテレビに入社しました。現在は、ショッピング番組(通販番組)のプロデューサーをやっております。卒業して早いものでもう27年が経ちます。これまで色々な経験をさせて頂きましたが、その原点は鹿屋で学んだ事だと思っています。50歳を超えまだまだ勉強不足なので、昨年4月から順天堂大学の大学院に進学し、今年は修士論文の完成を目指して学生生活を仕事と共に楽しんでみたいと思い頑張っております。

(株)TBSテレビ メディアビジネス局
ライセンス事業部 担当部長

宮本 和幸

Miyamoto Kazuyuki

第1期卒業生
昭和63年3月 体育学部
体育・スポーツ課程卒業



TBS安東アナウンサー(写真右)と打合せ中の筆者

鹿屋体育大学だからこそ 得られた経験値

現在、(独)日本スポーツ振興センターにおいて、2020年東京オリンピック、またその先の未来のアスリート発掘および適切な育成・強化へとつなげるための手法・仕組みづくりに関する仕事をしています。

本学には、競技を「する」だけでなく、それを「支える(育てる)」ことを学ぶための環境や機会があり、日本代表選手に対する現場でのサポート経験を踏むことが出来ました。こうした経験が、現職でも活かしております。

みなさんもスポーツを通して、夢にチャレンジし続けて下さい。

独立行政法人日本スポーツ振興センター
タレント発掘・育成コンソーシアム

藤原 昌

Fujiwara Akira
平成17年3月 体育学部 武道課程卒業
平成19年3月 大学院体育学研究科 修士課程修了

鹿屋は夢を叶えて くれる場所

教員になりたいと思った中学校3年生の時、そのきっかけとなった先生から「鹿児島にいい体育大学があるから、目指してみたらどうだ」と声をかけていただき、自分の夢は定まりました。高校時代、競技だけでなく学習面でも常に目標を持ち頑張ることができたのは、鹿屋体育大学進学という明確な目標があったからだと思います。

初めて親元を離れての学生生活は、不安な面もありましたが、それを払拭するほど充実したものでした。大学では陸上競技部に所属し、教員として幅広い指導力を身につけるため、それまで専門としていた走高跳から十種競技に転向しました。

全国各地から集まった仲間と過ごした時間は一生忘れることのない大切なものとなりました。今でも頻りに連絡を取り合うほど大切な仲間と出会えましたし、何より保健体育科教員になりたいという夢を叶えてくれたのですから。鹿屋は自分の可能性を試すのには最適な場所だと思います。ぜひこの地で、自分の夢の実現のために頑張ってください。



長崎県教育庁体育保健課

佐伯 直也

Saeki Naoya
平成7年3月 体育学部
体育・スポーツ課程卒業

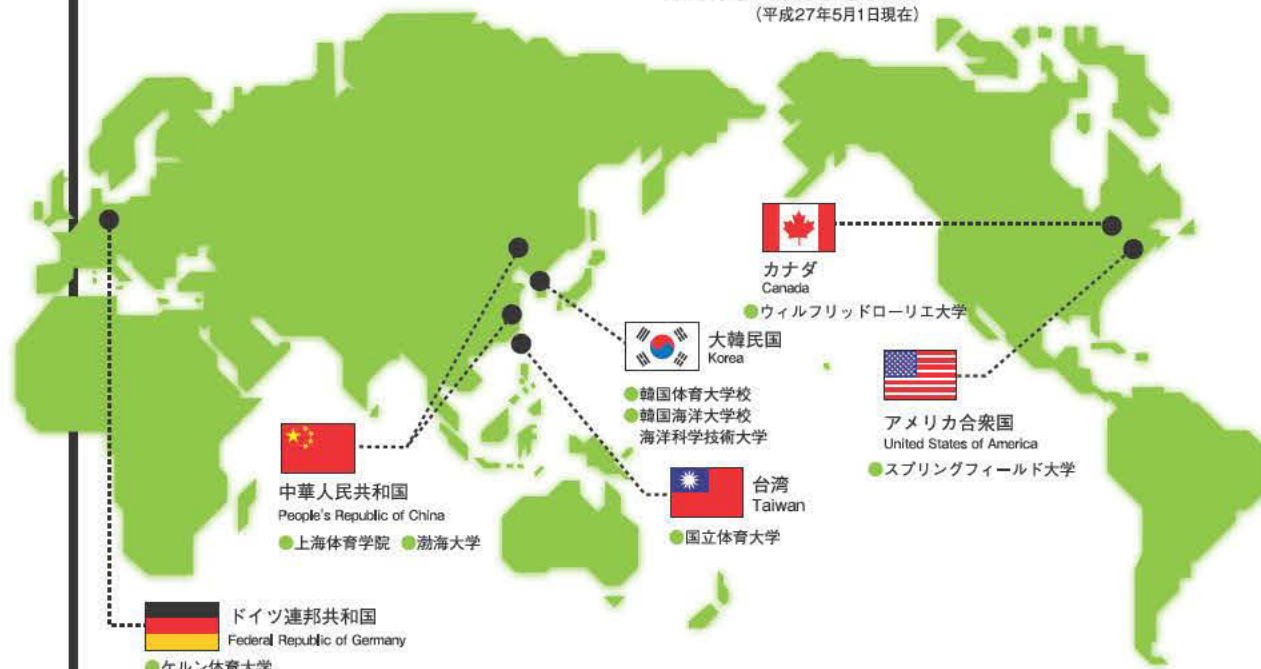
国際交流

本学は、下の地図に示す8つの大学と大学間交流協定を結んでいます。このうち、上海体育学院（中華人民共和国）、韓国体育大学校海洋科学技術大学（大韓民国）、国立体育大学（台湾）並びにウィルフリッドローリエ大学（カナダ）の4つの大学と学生交流（交換留学）を行っています。交換留学生は、学内で選考し決定しますが、交換留学の期間は1年以内で、派遣留学生数は一大学につき2名までとなっています。

留学の意義を考慮し、留学先で修得した授業科目等の単位をできる限り本学で取得した授業科目として認定するための取扱いも定めています。

なお、留学先での奨学金貸与を希望する場合は、独立行政法人日本学生支援機構の「第二種奨学金（短期留学）」制度に申し込むことができます。

大学間交流協定状況
(平成27年5月1日現在)



外国人留学生在籍状況 (平成27年5月1日現在)

国・地域	学生区分別内訳				計
	大学院生	学部学生	特別聴講学生	研究生	
ギリシャ	1				1
中華人民共和国	2	2	2	1	7
台湾		1	2		3
大韓民国			2		2
計	3	3	6	1	13

単位:人



鹿屋体育大学国際スポーツ・アカデミー形成支援事業

本事業は、文部科学省が公募した「スポーツ・アカデミー形成支援事業」に申請して採択された事業で、平成26年度から事業を開始しております。

本事業では、日本を含むアジア諸国におけるオリンピック教育プログラムの開発と、アジア各国にグローバルな人材を育成することを目的としています。その目的の達成に向け、国内外の大学や関係機関と連携し、主にアジア諸国の大学院レベルの学生や、各国のオリンピック委員会からの推薦が得られるトップコーチ、指導者を対象とした短期の国際セミナーを年2回開催しています。



留学生からのメッセージ

Messages From Foreign Students



姜 惠元

Kan Hewon

特別聴講学生(H26.4~H27.2)
出身国:大韓民国
(韓国体育大学校から留学)

写真左から2番目が筆者

鹿屋体育大学、大好き!

こんにちは、私は去年の4月に韓国体育大学校から交換留学で鹿屋体育大学に来ましたカン・ヘウンと申します。一人で母国を離れ、知り合いも誰一人いない日本で生活することは私にとってものすごい挑戦でした。

私が留学をしようと思った理由は、韓国で卒業を間近に控えていましたが、学生時代にいろんな経験をしてみたいと思ったからです。そして、日本文化を体験する目的で留学という最高の選択をするようになりました。

最初は、日本語がまったく話せなくて「こんにちは」「はい」「ありがとうございます」「よろしくお願いします」の言葉だけ使っていました。話をあまり理解していないのに「わかりました」と言ったり、(笑)

しかし、私が1年間日本で楽しく暮らすことができたのは、一緒に韓国から留学したイ・スジンさんや中国、台湾の留学生のほか、私たちが韓国語を教えていた地域住民の方々、そして鹿屋体育大学の学生、教職員が支えてくれたからです。おかげで、とても楽しく日本での生活を送ることができました。皆さんに愛されて、とても嬉しかったです。

鹿屋を離れ、韓国に帰るのはさびしいですけど、また皆さんとお会いするのを楽しみにしています。みなさん、1年間ありがとうございました。皆さんに出会えて幸せでした。

留学生チューターからのメッセージ

つながる!ひろがる!!

生まれてから一度も海外に行ったことがない私ですが、現在10人以上の韓国、中国、台湾の友人がいます。彼らとの出会いは、交換留学生のチューターを担当したことがきっかけでした。

チューターの役割は主に、担当する留学生の大学生活や日本語学習の手伝いです。その形は様々ですが、私は学生交流学習室(留学生と日本人学生が交流する部屋)に行き、日本語の授業における疑問点解消、プレゼンの原稿や日記の校正などの手助けをしました。他にも、母国での大学生活や恋愛の話、郷土料理の持ち寄り会をするなど親睦を深めました。会う度に、それぞれの国の特徴やその良さに気付く感覚がたまらなく新鮮でした。そのような留学生との交流を通して、異文化だけでなく日本の文化にも強く興味を持つようになりました。

また、学生交流学習室に行くことで、多くの留学生と交流するようになりました。留学生の皆が慣れない土地で日々努力している姿を見ると、私も負けれないと思い、学外の国際イベントに参加したり、英語の先生との個人英会話を依頼するなど、積極的に行動するようになりました。

部活動との限られた時間の中でこのような交流を持つことができたのは、学生と留学生が近い存在に感じられる本学だからこそだと思います。本学は他大学に比べ学生数が少ないため、何事も密に取り組める環境にあります。私はチューターという機会を通して留学生から感じた、この熱い熱い熱意の力を借りて夢に向かって前進していきたいです。



写真右側が筆者

小林 瑛美

Kobayashi Emi

体育学部 スポーツ総合課程4年

男子バレーボール

- ①2010(平成22)年
ビーチバレー・ジャパン・カレッジ2010 1位
- ②2012(平成24)年
ビーチバレー・ジャパン・カレッジ2012 3位



女子バレーボール

- ①2010(平成22)年
秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学選手権大会 1位
- ②2011(平成23)年
モントルーバレーマスターズ全日本女子チーム選出
- ③2012(平成24)年
皇后杯全日本バレーボール選手権大会 ベスト8
- ④2013(平成25)年
秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学選手権大会 1位



写真提供：月刊バレーボール

男子バスケットボール

- ①2009(平成21)年度
全日本学生選手権 第7位(全日本総合選手権出場)
- ②2011(平成23)年度
九州学生男子1部リーグ戦 優勝



女子バスケットボール

- ①2005(平成17)年度
全日本学生選手権 準優勝
- ②2011(平成23)年度
九州学生女子1部リーグ戦 優勝(16年連続)
- ③2012(平成24)年度
九州総合選手権 優勝(全日本総合選手権出場)



サッカー

- ①2014(平成26)年度
全日本大学サッカー選手権大会 16位
- ②2013(平成25)年度
全日本大学サッカー選手権大会 3位
- ③2013(平成25)年度
総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント大会 3位
- ④2012(平成24)年度
全日本大学サッカー選手権大会 3位
- ⑤2011(平成23)年度
国民体育大会 優勝



本学には、現在、22のサークルと3つの研究会があり、ほとんどの学生が加入しています。

特に、多くの体育系サークルでは、全国規模の大会で優秀な成績を収めるなど、活発な活動を展開しています。サークル活動は、学生が自主的に行う活動であり、社会の一員として必要な資質を身に付けたり、教養を高めるなどの大切な役割を担っています。

また、サークル活動を通じて得られるさまざまな体験は、学生生活 一生忘れることのできないすばらしい思い出にもなります。

したがって、学生が各自の関心と適性にあったサークルに所属し、より高い専門的知識や技能を身に付けるために積極的に活動することをお勧めします。

体育系サークル	陸上競技部	(79)	ラグビー部	(8)	カヌー部	(20)	研究会	伝統文化・スポーツ研究会	(3)
	硬式野球部	(40)	体操競技部	(26)	なぎなた部	(9)		グローバル研究会	(11)
	テニス部	(23)	水泳部	(47)	セパタクロ部	(18)		Strength & Conditioning 研究会	(5)
	男子バレーボール部	(8)	柔道部	(59)	ウインドサーフィン部	(11)			
	女子バレーボール部	(28)	剣道部	(138)	アスレティックトレーナー部(専任)	(11)			
	男子バスケットボール部	(33)	ヨット部	(12)	アスレティックトレーナー部(兼部)	(21)			
	女子バスケットボール部	(30)	漕艇部	(3)	ゴルフ部	(2)			
	サッカー部	(102)	自転車競技部	(30)					

注) () は平成27年5月1日現在の部員(会員)の数



サークル紹介



NIFS プログラム

Q.サークルには必ず加入しなければなりませんか?

A. サークルに所属することにより、競技力の向上を目指すことができるだけでなく、集団生活の中で規律を守ることや人間形成を図ることができるため、できるだけ加入することを勧めています。また体育系サークルだけでなく研究会もあります。

なお、本学サークルでは、いわゆる先輩部員によるシゴキとかイジメなどはありませんので、安心してください。

Extra-curricular Activities サークル活動

サークル活動成績

陸上競技

- ①2011(平成23)年
日本陸上競技選手権大会 男子砲丸投 2位
- ②2007(平成19)年
日本陸上競技選手権大会 男子走幅跳 3位
- ③2007(平成19)年
日本陸上競技選手権大会 男子三段跳 3位
- ④2002(平成14)年
日本陸上競技選手権リレー 男子4×100mR 5位
- ⑤1999(平成11)年
ユニバーシアードパロマ大会 男子5000m 6位



テニス

- ①1991(平成3)年
全日本学生テニス選手権大会 女子シングルス 準優勝
- ②1999(平成11)年 国民体育大会 女子団体 7位
- ③2003(平成15)年
全日本テニス選手権 女子シングルス ベスト32
- ④2013(平成25)年
全日本大学対抗テニス王座決定試合 女子団体 ベスト8
- ⑤2014(平成26)年
全日本大学対抗テニス王座決定試合 男子団体 ベスト8



打ち込めること、ひとつ。



体操競技

- ①2010 (平成22) 年3月
ワールドカップ・カタール大会 つり輪2位
- ②2012 (平成24) 年11月
アジア・シニア選手権大会 団体総合2位
- ③2013 (平成25) 年3月
チャレンジカップ・クロアチア大会 平行棒4位
- ④2009 (平成21) 年11月
全日本種目別選手権大会 跳馬1位
- ⑤2014 (平成26) 年11月
全日本団体選手権大会 団体4位



漕艇

- ①2013 (平成25) 年
第40回全日本大学選手権大会 女子シングルスカル6位
- ②2010 (平成22) 年
第37回全日本大学選手権大会 女子舵手無しペア6位
- ③2008 (平成20) 年
第30回全日本軽量級選手権大会 女子舵手付クォドルプル 7位
- ④2008 (平成20) 年
第86回全日本選手権大会 女子シングルスカル6位
- ⑤2007 (平成19) 年
第34回全日本大学選手権大会 男子舵手無しクォドルプル5位

水泳

- ①2004 (平成16) 年
第28回夏季オリンピックアテネ大会
女子800m自由形優勝
- ②2008 (平成20) 年
第29回夏季オリンピック北京大会
女子400m自由形出場
女子800m自由形出場 女子800mリレー7位
- ③日本学生選手権水泳競技大会 大学対抗女子優勝
(2005、2006、2007、2008、2012)
- ④国際大会代表選手 16名輩出



自転車競技

- ①2015 (平成27) 年 UCIトラック自転車競技選手権大会
女子25kmポイントレース 準優勝
- ②2014 (平成26) 年 第17回仁川アジア競技大会
自転車競技 男子オムニウム 優勝
- ③2014 (平成26) 年
第83回全日本自転車競技選手権大会トラックレース
男子チームスプリント 外6種目優勝
- ④2014 (平成26) 年
第83回全日本自転車競技選手権大会ロードレース
男子U23・173.8km個人ロードレース 外2種目優勝
- ⑤2014 (平成26) 年 文部科学大臣杯
第70回全日本大学対抗選手権自転車競技大会
男子総合外6種目 優勝



柔道

- ①2012 (平成24)・2014 (平成26) 年
全日本学生柔道優勝大会 女子三人制の部 優勝
- ②2013 (平成25) 年
全日本学生柔道体重別団体優勝大会 男子5位
- ③2014 (平成26) 年
グランプリチュージュ 男子-66kg 優勝
- ④2013 (平成25) 年
講道館杯全日本柔道体重別選手権大会 -48kg 優勝
- ⑤2013 (平成25) 年
全日本ジュニア柔道体重別選手権大会 -78kg 準優勝



カヌー

- ①2014 (平成26) 年 日本カヌースプリント選手権大会
男子カナディアンシングル1000m 優勝
- ②2014 (平成26) 年 日本カヌースプリント選手権大会
男子カヤックシングル 1000m 4位
- ③2014 (平成26) 年 日本カヌースプリント選手権大会
女子カヤックペア200m 優勝
- ④2014 (平成26) 年 日本カヌースプリント選手権大会
女子カナディアンシングル200m 優勝
- ⑤2011 (平成23) 年 第47回全日本学生カヌー
スプリント選手権大会 男子総合優勝

剣道

- ①2014 (平成26) 年
第62回全日本学生剣道優勝大会 男子団体1位
- ②2012 (平成24) 年
第31回全日本女子学生剣道優勝大会 女子団体1位
- ③2013 (平成25) 年
第47回全日本女子学生剣道選手権大会 女子個人1位
- ④2013 (平成25) 年 第8回全日本学生剣道オープン大会
【男子】個人三段以上の部 1位、3位
／二段以下の部 3位
【女子】個人三段以上の部 1位
- ⑤2014 (平成26) 年
第9回全日本学生剣道オープン大会
女子個人三段以上の部 1位



なぎなた

- ①2006 (平成18) 年度 第45回全日本学生なぎなた
選手権大会 個人試合の部 優勝
- ②2007 (平成19) 年度 第46回全日本学生なぎなた
選手権大会 演技競技の部 準優勝
- ③2011 (平成23) 年度 第50回全日本学生なぎなた
選手権大会 団体試合の部 準優勝
- ④2012 (平成24) 年度 第51回全日本学生なぎなた
選手権大会 団体試合の部 準優勝
- ⑤2013 (平成25) 年度 第52回全日本学生なぎなた
選手権大会 個人試合の部 優勝



ヨット

- ①2014 (平成26) 年
全日本女子学生ヨット選手権大会スナイプ級3位
- ②2013 (平成25) 年
全日本学生ヨット選手権大会総合6位入賞
- ③2011 (平成23) 年
全日本学生ヨット個人選手権大会スナイプ級1位
- ④2010 (平成22) 年
レーザー級世界選手権大会出場
- ⑤2008 (平成20) 年
全日本学生ヨット選手権大会スナイプ級 優勝



ウィンドサーフィン

- ①2014 (平成26) 年
全日本学生ボードセーリング大会出場
- ②2014 (平成26) 年
全日本ボードセーリング選手権九州支部予選1位
- ③2013 (平成25) 年
全日本学生ボードセーリング大会女子4位
- ④2013 (平成25) 年
第68回国民体育大会女子団体ウィンドサーフィン級6位
- ⑤2012 (平成24) 年
全日本学生ボードセーリング大会出場



霧島ヶ丘公園(かのやばら園)

人と自然が輝くまち 地域の恵みが 響きあうまち

鹿児島県の県庁所在地である鹿児島市からフェリーで東へ約45分乗船し、到着した垂水(たるみず)市からバスでさらに南東へ約30分揺られると、雄大な高隈(たかくま)山系の裾野に広がる鹿屋体育大学が出現します。

大隅半島の中核都市である鹿屋市は、自然が豊富で、その恵みである良質の農産物や海産物、畜産物を安く食することができます。上質の栄養補給が必要なアスリートにとって、まさに最適な環境といえます。

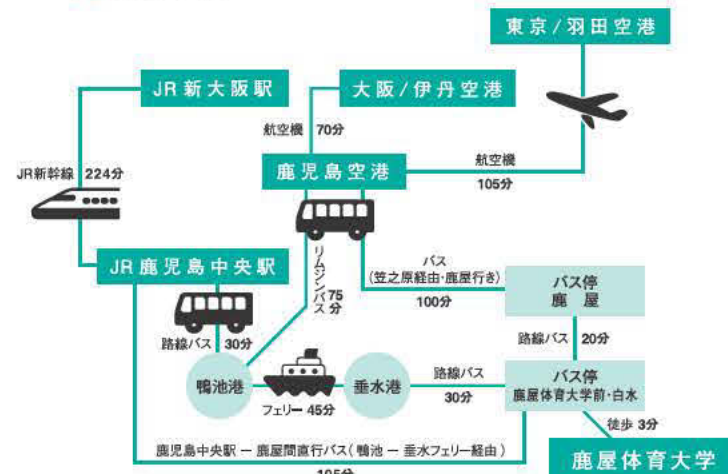
また、気候が温暖な本土最南端に位置するため、1年中スポーツに打ち込むことができます。そんな鹿屋市で、あなたも未来を拓いてみませんか?

所在地

Location



交通手段



充実の環境が、 キャンパスライフを サポートする。

福利厚生

Community Service Facilities

学生・教職員の福利厚生増進のため、学生会館が設置されており、食堂、喫茶、売店、理・美容室などがあります。学生の憩いの場として「学生ラウンジ」を設け、学生相互のコミュニケーション等に利用されています。

また、学生・教職員の健康の保持・増進を図るための施設として、「保健管理センター」があり、健康等に関する助言・指導や、傷害に対する救急処置等を行っています。

課外活動、本学主催の講習会・研修会・スポーツ交流会等に利用できるように、宿泊室や研修室等を備えた「合宿研修所」が設置されており、最大で113名が宿泊できます。



保健管理センター



●体組成計



●酸素カプセル
●マッサージ器



学生ラウンジ



売店



理・美容室



ギャラリー



学生食堂(朝食バイキング)



合宿研修所



ロッカー室

日本学生支援機構

- (1) 第一種奨学金（無利子）
人物・学業共に特に優れかつ健康であって、経済的理由により著しく就学困難と認められる者に貸与されます。
- (2) 第二種奨学金（有利子）
人物・学業共に優れかつ健康であって、経済的理由により著しく就学困難と認められる者に貸与されます。
- (3) 入学時特別増額貸与奨学金（有利子）
日本政策金融公庫の教育ローンを低所得を理由に受けられなかった世帯向け。人的保証制度に代わる機関保証制度により、保証人がいない場合でも一定の保証料を支払うことにより奨学金を貸与されることがあります。

【貸与金額】（平成27年4月1日）

大学	・第一種奨学金（無利子） 自宅通学者：45,000円または30,000円、 自宅外通学者：51,000円または30,000円 ・第二種奨学金（有利子） 3・5・8・10・12万円から選択
大学院（修士課程）	・第一種奨学金（無利子） 88,000円または50,000円 ・第二種奨学金（有利子） 5・8・10・13・15万円から選択
大学院（博士後期課程）	・第一種奨学金（無利子） 122,000円または80,000円 ・第二種奨学金（有利子） 5・8・10・13・15万円から選択
入学時増額貸与	（有利子）10・20・30・40・50万円から選択

学費

School Expenses

入学料等（平成27年度実績）

区 分	金 額	納 入 時 期
入学料	282,000円	入学手続時
授業料	前期 267,900円	4月30日まで
	後期 267,900円	10月31日まで
その他経費（各種保険料等）	75,700円	入学手続時

学費の免除

- (1) 入学料免除
入学前1年以内において、入学する者の学費を主として負担している者（学費負担者）が死亡し、又は入学する者若しくは学費負担者が風水害等の災害を受けたことにより入学料の納付が著しく困難であると認められる者は、願出により入学料の全額又は半額が免除されることがあります。（大学院生は経済的理由で申請可）
- (2) 授業料免除
次に該当する者は、願出により授業料の全額又は半額が免除されることがあります。
① 経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる者
② 入学前1年以内において、学費負担者が死亡し、又は入学する者若しくは学費負担者が風水害等の災害を受けた者
- (3) 入学料特別免除
競技成績の特に優れた者に対し実施します。
競技成績、一般入試成績又は学業成績を基に選考（本人申請手続きは不要。）

鹿屋体育大学 日本学生支援機構 奨学生数一覧

入学年度	学 部						大学院					
	学生数 a	一種	二種	併用 （一種＋二種）	計 b	貸与 比率 b/a	学生数 c	一種	二種	併用 （一種＋二種）	合計 d	貸与 比率 d/c
23	214	31	73	11	115	54%	—	—	—	—	—	—
24	195	24	93	10	127	65%	15	6	0	0	6	40%
25	183	30	60	7	97	53%	29	14	0	1	15	52%
26	176	32	52	17	101	57%	28	9	0	3	12	43%

注）地方公共団体や民間の育英奨学事業団体等の奨学金もあります。

奨学金

Scholarships

教育研究活動中の不慮の災害事故の補償や、課外活動中・往復中の事故の補償のほか、他人への賠償等のために、次のような各種傷害保険を準備しています。なお、学部学生は、入学時に学生教育研究災害傷害保険及びスポーツ安全保険に全員加入しています。

学生教育研究災害傷害保険	学生が体育実技や実験実習等の正課の授業中、学校行事、課外活動中等、教育研究活動中の事故や通学中等の事故によって被った傷害に対して、補償する制度。本学では、学生が安心して学業に励むことができるように入学時に全員加入いただいています。	保険料：3,300円（4年間） 1,750円（2年間）
スポーツ安全保険	サークル等でスポーツ活動、指導活動を行う者が、その活動中や往復中に生じた事故によって傷害を被った場合や他人にケガをさせたり、他人の物を壊したりして損害賠償を負った場合、補償する制度。本学では、学生が安心して課外活動ができるように入学時に全員加入いただいています。	保険料：7,400円（4年間） 3,700円（2年間）
傷害総合保険	教育研究活動中のみならず日常生活で生じたさまざまな事故に対して、総合補償する制度。損害賠償制度や学費・育英費用にも対応しており、加入は、任意となっています。	自宅 40,000円 寮・アパート 48,000円（4年間） 自宅 21,000円 寮・アパート 25,000円（2年間）
学研災害帯学生生活総合保険		自宅A 44,690円 自宅B 34,550円 自宅C 54,290円 自宅D 44,350円（4年間）

※平成27年4月現在

傷害保険

Casualty Insurance



学生宿舎は、大学敷地の一角に位置し、1棟70名収容の建物が5棟設けられています。

部屋はすべて個室（約6畳）で、収容人員は350名（男子280名、女子70名）、現在、在学生全体の約4割の学生が入居しています。

棟内は、居室のほか、各階に共用施設として補食談話室、洗面・洗濯室、浴室、トイレ等があります。

寄宿料等は、1ヵ月当たり13,800円（寄宿料4,300円、運営費6,500円、居室電気料3,000円）です。規則正しい生活を送れるように、学部1年生から3年生については学生食堂での朝食摂取を入居の条件としています。

朝食代：年額70,620円（平成27年度実績）、年度当初に前納（理由がある場合は、事前の欠食届の提出により返金）

学生宿舎

Student Dormitories

名 称	1居室面積・構造	居室数（個室）	備 考
A 棟	約10㎡・鉄筋5階	70	男 子
B 棟	〃	70	男 子
C 棟	〃	70	女 子
D 棟	〃	70	男 子
E 棟	〃	70	男 子



宿舎行事の一コマ

○管理運営

管理運営業務は、学生課が担当し、宿舎敷地内の共用棟に管理人を置いています。なお、入居者が自主的に規律ある共同生活を行うため、自治組織として「学生宿舎会」が設けられています。

○入居者の選考方法

入居者の選考は、所定の規則に基づき、宿舎生活に支障がないこと、自宅からの通学距離が30km以上であること、経済に困窮度が高いこと、入居後の生活態度等を勘案して行います。抽選や、先着順などではありません。なお、新入生は、優先的に入居できるように在学生よりも枠を多く設けるなど配慮しています。

○自動車等

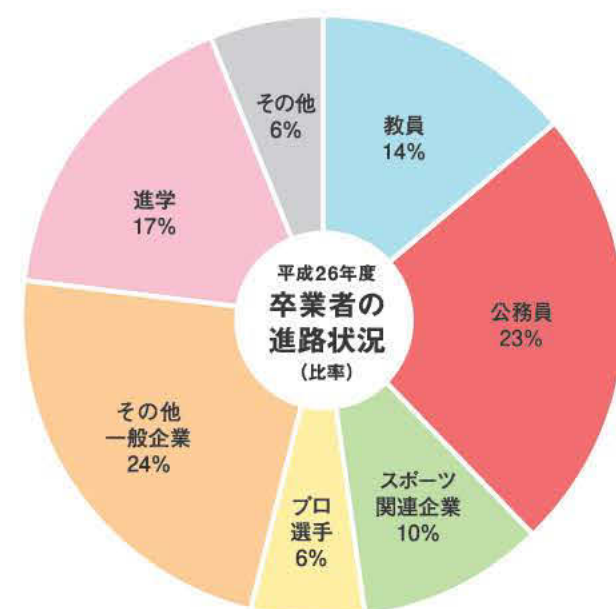
駐車場及び駐輪場を設置しています。駐車場の使用は無料ですが、許可が必要です。なお、原則、学部1年生は自動車の持ち込みはできません。

大学周辺には、多くのアパートが点在しており、本学学生も入居しています。家賃は月額25,000円～50,000円（6畳～8畳）です。詳しくは、学生課にお問い合わせください。



平成26年度卒業生の進路状況

平成27年3月に卒業した学生の職業別進路状況は、下の円グラフに示すとおりです。



卒業・終了後の進路状況等は
このQRコードへアクセス願います

主な就職先

最近5年間に於ける職種別の主な就職先は、以下のとおりです。

・教員

長野県、鹿児島県、広島県

・公務員

行政職：秋田県、名古屋市、大阪市、鳥取市、刈谷市、木更津市、佐世保市、鹿屋市、垂水市
警察官：警視庁、愛知県、福岡県、兵庫県、宮崎県、鹿児島県等の警察
消防士：東京消防庁、大阪市、福岡市等の消防局

・スポーツ関連企業

ミズノ(株)、(株)アシックス、(株)ヒマラヤ、セントラルスポーツ(株)、(株)セノー
(株)ルネサンス、(株)アコーディアゴルフ

・実業団(選手)

サッカー：サガン鳥栖、ロアッソ熊本、ガイナレ鳥取、栃木サッカークラブ、
ホンダロックSC、ギラヴァンツ北九州

バレーボール：久光製薬スプリングス、JTマーヴェラス、日立リヴァーレ、
PFUブルーキャッツ、大野石油広島オイラーズ

バスケットボール：新潟アルビレックス

自転車：NIPPO VINIFANTINI De Rosa、チャンピオンシステム

・一般企業

(株)DNP西日本、ニプロ(株)、曙ブレーキ工業(株)、(株)JTB、JR東日本、伊藤忠エネクス、
モリリン(株)、(株)大創産業、(株)福岡放送、(株)鹿児島テレビ、(株)マイナビ、
SMBC日興証券、日本生命保険相互会社、鹿児島銀行、(株)アイケイケイ

・進学

鹿屋体育大学大学院、筑波大学大学院、東京大学大学院、広島大学大学院、
兵庫教育大学大学院、愛知教育大学大学院、順天堂大学大学院

キャリア形成支援室

キャリア形成支援室は、就職やキャリア形成を希望する学生の皆さんをサポートするためのセクションで、以下の設備等を備えており、学年に関係なくだれでも利用できます。

- ・インターネットによる就職情報等を検索できるパソコン(3台)(利用時間/8:30~17:15)
- ・求人資料、各種就職専門書・専門雑誌、資格試験雑誌等
- ・貸出用就職関係図書、DVD



就職相談員

キャリア形成支援室には、就職相談員を配置し、就職相談に対応しています。

相談曜日は、原則として火・水となっています。



就職対策

・教員対策・公務員対策

休日を利用した模擬試験を年数回実施しています。また、希望者に対しては、模擬面接も随時実施しています。さらに一般企業・公務員ガイダンスも年1回開催しています。

・就職塾

年数回、休日を利用して外部講師を招いて「就職塾」を開講しています。この企画では、職業選択や自己分析についてアドバイスをいただくとともに、履歴書の書き方や面接の心構えについても指導してもらいます。

・就職ガイダンスバスツアー

年1~2回ヤフードーム(福岡市)を会場として開催される合同企業説明会に、借り上げバスを利用して「弾丸バスツアー」を行います。



